

藤と日本遺産を巡る『出会いバスMAP』

「出会いのまち草津」で、藤の花の名所や、普段公開していない文化財の特別公開など貴重な草津の歴史に会い楽しく巡ろう！



常盤まちづくりセンター

1 惣社神社
志那中のサンヤレ踊り(12:30頃～)



2 三大神社
吉田のサンヤレ踊り(13:30頃～)



吉田のサンヤレ踊りは白い法被をまとい、踊りと謡の速度が特徴的です。踊りの背後には樹齢400年といわれる藤の古木があり、花房が通常よりもしだれることから「砂ずりの藤」と呼ばれ、見頃には多くの人が訪れます。
¥ 200円

3 志那神社
志那のサンヤレ踊り(13:00頃～)



志那のサンヤレ踊りは太鼓打ちなど白い法被に黒い帯を締めた衣装をまとい、三大神社の藤と同じ種類の藤の古木があり、毎年見事な花をつけます。



日本遺産 草津の日本遺産

芦浦観音寺
天台宗寺院として600余年の歴史を持ち、特に安土桃山時代から江戸時代中期にかけて湖上交通を管理する船奉行を務めました。堀や石垣、土塁を巡らした城郭のような特徴的な姿をした寺院です。毎年春と秋に一般公開されます。

草津のサンヤレ踊り
室町時代に近畿地方で流行した風流(ふりゅう)踊りの系譜を引いた芸能で、5月3日に琵琶湖岸の地域を中心に演じられています。サンヤレは「幸(さち)あれ」が転訛したものといわれ、農作物などの五穀豊稔を祈るとともにさまざまな災いを追い払うために踊られます。

※神社でのサンヤレ踊りの時間は目安です。

2 吉田家住宅【現地ガイド付】
吉田家は、近江国守護佐々木氏の支流の主家で、庄屋を務めていました。主屋は天保5年(1834)頃の建築といわれており、幕末に建てられた庄屋の屋敷構えを知る上で価値が高いことから、県指定文化財に指定されています。
¥ 橋堂と共通で150円

2 橋堂【現地ガイド付】
橋堂は室町時代に焼かれたといわれ、現在は小堂のみがあります。本尊の木造三面六臂観音立像は、平安時代の作で市指定文化財に指定されています。3つの顔と6本の手をもつ特異な観音像です。
¥ 吉田家住宅と共通で150円

5/3日限定
11:50分頃～13:00分頃のみ停車

4 老杉神社
下笠のサンヤレ踊り(12:00頃～)



市内最大の参加人数で、花笠や色鮮やかな衣装をまとった子どもたちが中心となって踊ります。大人は飛龍文や波文が入った衣装を身にまといます。

常盤まちづくりセンター

5/3日限定
11:55分頃～14:10分頃のみ停車

5 印岐志呂神社
片岡のサンヤレ踊り(12:00頃～)



片岡は多くが黒襟に白い法被の衣装をまといますが、太鼓打ちは友禅染の裂地を用いた法被をまといます。長束は3年に一度行われ、子どもが花笠に色鮮やかな衣装をまといます。
(※今年は長束は行われません。)

5/4・5日限定

6 芦浦観音寺【現地ガイド付】



聖徳太子開基・秦野河勝創建と伝える古刹で、特に安土桃山時代から江戸時代の初めには豊田秀吉や徳川家康など多くの権力者と関わりを持ち、琵琶湖湖上交通を管理・掌握した寺院として知られています。
¥ 300円(茶席は別途300円要)

10 道の駅草津

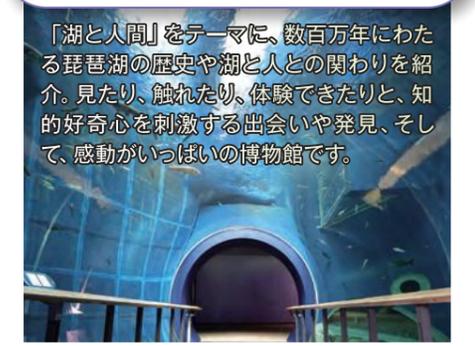


9 水生植物公園 みずの森



琵琶湖に面した烏丸半島にある全国でも数少ない水生植物公園です。多彩な植物が咲き競う園内。中でも日本最多のスイレンのコレクションは必見です。
¥ 大人300円

8 琵琶湖博物館



¥ 大人750円

7 花摘寺跡【現地ガイド付】



下物町の天満宮周辺は、昔から古瓦が出土することで知られ、また、柱座のある礎石や石造露盤が残ることなどから、古代寺院が存在したと考えられていました。発掘調査の結果、南北2町・東西1.5町の寺域を持つ寺院であったことが判明しました。